

## 『イギリスにおける「資格制度」の研究』

柳田雅明著

多賀出版 2004年

拙著を4つの特色に整理して語ります。

### 1 事典的に使える

大学等入試から職業技能検定までをも含むイギリス(イングランド・ウェールズとスコットランド)における「資格」について、その主だったものを、本書は網羅しています。それらの起源からできる限り最近の動向までを、関連する技術・手法を含めて触れています。その上、日本語英語双方の索引を付けてレファレンス機能を高めています。だから、事典的に使えます。したがって、関係資料をお読みになる際にご利用いただくと時間と労力が節約でき、対費用効果も高いと考えます。

### 2 学位論文の書式雛形となる

社会学や心理学のように学会誌投稿書式が確定している分野以外で、学位論文の書式の統一およびその指導でお困りの場合、一事例として使えます。本書は、割愛部分なしの体系的学術論文です。国際的学術論文の書式マニュアルとして知られるいわゆる『シカゴ・マニュアル』<sup>1)</sup>に原則準拠した日本語対応バージョンです。実は、本書の元となる学位論文での主査は、日本での学術書式がいい加減なことを大いに憂えており、その改善案適用第1号が私の学位論文なのです(日本語用の標準学術書式マニュアルは、まだ公になっていませんけど)。

### 3 この分野での本邦初の総合的学術研究書であり、かつ世界初の手法を用いている

まさにエアポケットとなっていたこの分野で、研究環境の劣悪化という昨今の一般傾向の中、物理的に書ける状況になっていたのは、どうも運と鈍に恵まれた私だけ

になってしまっていたようです（決して根がある方でないにもかかわらず）。

かつ本書はディシプリン開拓型の研究です。理論枠組みは、オリジナルです。評価判定とその提示・受容との間に見られる「標準化」の複層性に着目して、「枠組みの標準化」と「評価の標準化」を分離して定義しました。そしてその定義を鍵概念とする枠組みで、イングランド・ウェールズとスコットランドとを比較検討しています。このような研究は、イギリス連合王国を対象とする場合に限らず、関連分野においてもかつて例を見ません。そのことで、学歴とその他資格とを2分法で比較検討する以上の成果を得られたと自負します。

#### 4 たたき台として使ってほしい

とはいえ、自然科学的に言えば、とりあえず当面一番もっともらしい仮説を提示したのが本書です。研究の洗練度は当然まだ低いでしょう。たしかに行き届かないところがあります。「認知的能力」と「理論的能力」を一体的概念として扱っていること、また evaluation と assessment とを区別せず「評価」として一括したまま論を進めていることなど、格好の批判の標的になるだろうと覚悟しています。最近の動きについて、十分に触れきれないこともあります。たとえば、年齢に関係なく共通の資格を取得するという従来の政策の流れが変わり、若年者向け資格と成人向け資格との分化が始まりつつあります。またウェールズでは、資格制度における分権化がすでに開始されています。

これらの新たな課題についても、本書をきっかけとして共に検討できるお仲間ができればうれしいです。また優秀な方々が、「この程度で学術出版ができるのか」ということで参入してくる呼び水となれば、本書が世に出る意味があるでしょう。

ともかく学術研究者の方々は、「柳田雅明には、だまされないぞ」ということで。今後の事実関係の動きについては、関係機関のホームページ等でご確認をということ。最新正誤表は、著者までご連絡を。

ところで、ここは日英教育学会の会誌ですが、本書は果たして教育学の本なのでしょうか？ 著者本人は、ほとんど自覚のないまま書いてきたので、よくわかりません。ちなみに、すでに配架されている図書館では、みな労働 (366) に分類されています。

以上論理一貫性なく書いてしまいました。何とか自覚できているつもりです。この紹介文が、みなさまの支えなしでは、私の力が現段階でこの程度しかないと明示していることは。ということで、無視をなさらず、せめて「おかしい」「間違っている。」

とおっしゃって。

目次

第1章 問題意識と研究方法

第2章 先行研究の検討

第3章 イギリスにおける資格制度「標準化」に至るまでの経緯

第4章 職業資格における「標準化」——NVQ(全国職業資格)の開発普及を中心に

第5章 職業資格と普通学力資格の統合に関する問題——一般全国職業資格(GNVQ)を中心に

第6章 「全国資格枠組み」の成立と派生する問題

6-1 「全国資格枠組み」の成立

6-2 「全国資格枠組み」と連動する施策・動向

6-3 「高等教育へのアクセス・プログラム」と「スコットランド・より幅広いアクセスのためのプログラム」——成人のための大学等入学準備課程の検討

6-4 考察——「全国資格枠組み」が抱える問題点

第7章 「全国資格枠組み」における「標準化」と相補う関係にある手法・技術

7-1 学習経験および既習得技能・能力等の単位認定

7-2 全国共通到達度記録書(NRA)からプロGRESS・ファイルへ——生涯にわたる活用を前提とする統合型到達度記録書式

7-3 コンピュータ・データベースの開発・活用と資格制度の「標準化」

第8章 総括と今後の課題

付録 関係略年表

参考文献一覧

英文文献資料(市販データベース・電子的記録およびテレビ番組を含む)

英文インターネット公開資料

和文文献資料

索引(英語編・日本語編)

\*1 Kate L. Turabian, *A Manual for Writers of Term Papers, Theses, and Dissertations*, rev. John Grossman and Alice Benett, 6th ed. (Chicago: University of Chicago Press, 1996).

(柳田雅明 青山学院大学文学部助教授)